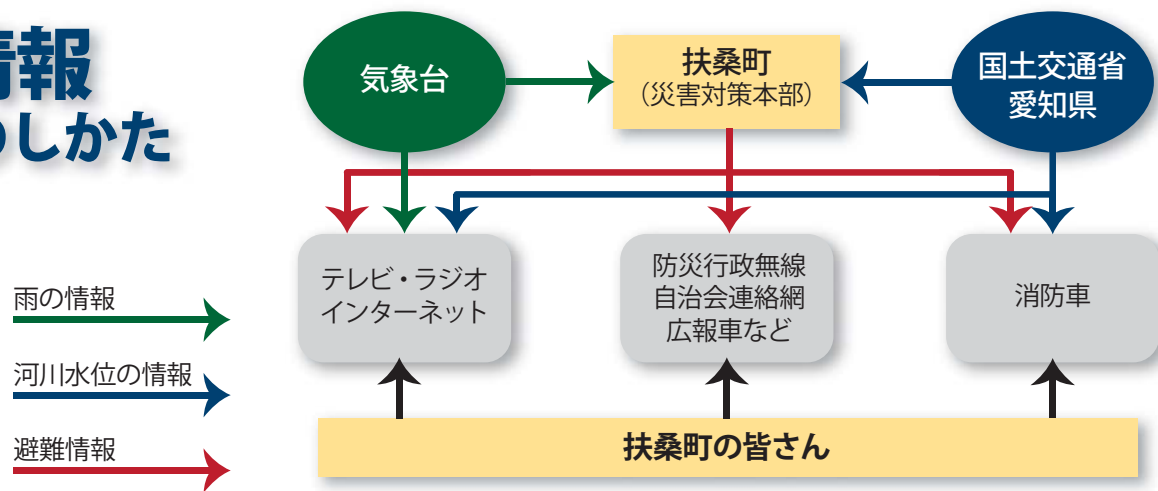


災害情報の入手のしかた



雨の情報
河川水位の情報
避難情報

暴風雨の中で雨戸を閉め切って寝ていたら…、テレビ・ラジオをつけていなかったら…、停電だったら…、浸水で広報車が行けなかったら…など

このような状況では、情報があなたの手元に届きにくくなってしまいます。洪水災害の危険が高まった際には、様々な場所で様々な情報が発信されています。しかし、これらの災害情報が伝わって来るのをただ待つだけでは、重要な情報を逃してしまうおそれがあります。豪雨時には自ら情報に注意するよう心がけましょう。町では防災行政無線の戸別受信機を無料で貸与していますので、こちらもご活用下さい。

インターネットなどで調べる

気象庁 http://www.jma.go.jp/ 全国の気象の注意報・警報、洪水予報、土砂災害警戒情報など	扶桑町 http://www.town.fuso.aichi.jp/ 扶桑町に関する避難情報、種々の緊急情報など	愛知県 http://www.pref.aichi.jp/ 愛知県全般に関する種々の緊急情報
名古屋地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/nagoya/ 名古屋地方の気象の注意報・警報、雨量観測データなど	名古屋地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/nagoya/ 名古屋地方の気象の注意報・警報、雨量観測データなど	岐阜地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/gifu/ 木曾川上流域の雨に関する注意報・警報や雨量観測データなど
国土交通省 川の防災情報 http://www.river.go.jp/ 木曾川や新郷瀬川の水位観測データ、雨量観測データなど	国土交通省 川の防災情報 (モバイル) http://i.river.go.jp/ 携帯端末からも木曾川や新郷瀬川の水位観測データや雨量観測データを閲覧できます。	国土交通省 木曾川上流河川事務所 http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/ 木曾川上流域の水位観測データなど
愛知県 川の防災情報 http://www.kasen-owari.jp/ 名古屋地方の気象の注意報・警報、新郷瀬川の雨量と水位、など	岐阜県 川の防災情報 http://www.kasen.pref.gifu.jp/ 木曾川上流域の雨量観測データや水位観測データなど	XバンドMPレーダ雨量情報 http://www.river.go.jp/xbandradar/ より早くより詳細な雨量観測データを閲覧できます。

ラジオで調べる

AM	NHK 第1 (729 kHz)	CBC ラジオ (1053 kHz)	東海ラジオ (1332 kHz)
FM	NHK-FM (82.5 MHz)	FM AICHI (80.7 MHz)	ZIP-FM (77.8 MHz)

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話がつながりにくくなります。そんな時には災害用伝言ダイヤル【171】に電話をかけると、伝言を録音したり再生したりできます。

災害用伝言ダイヤル 171	伝言を残すには？ (録音方法)	伝言を再生するには？ (確認方法)
	① 171に電話する。 ② ガイダンスに沿って、1を押す。 ③ ガイダンスに沿って、自宅の電話番号をダイヤルする。 ④ ピッと音の後に録音する (30秒以内)。	① 171に電話する。 ② ガイダンスに沿って、2を押す。 ③ ガイダンスに沿って、連絡をとりたい方の電話番号をダイヤルする。 ④ 最新の伝言から再生されます。

そのほかにも、インターネットを利用した「災害用ブロードバンド伝言板 (web171)」や携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」のサービスでも安否情報の登録・検索ができます。「災害用ブロードバンド伝言板 (web171)」の詳細は、NTT 西日本からの案内またはホームページをご覧ください。「災害用伝言板」の詳細は、携帯電話各社からの案内またはホームページをご覧ください。

いざというとき頼りになるのは地域のちから

多くの人々は、災害対応の責任の多くが行政にあると考え、また期待もしています。

しかし、実際の災害は多くの場合、行政にとっても想定外の外力で発生しています。想定外の力で私たちを襲う自然災害に対して、私たちの暮らしの全てを守りきることは不可能です。とはいえ、行政は災害への対応 (=公助) を投げ出しているわけではありません。不測の事態に備え、扶桑町としてのできる限りの体制を整えています。

そして、町民の皆さんには、行政の対応だけでは守りきれない事態において、自分のいのちは自分たちで守る「自助」以外にはないことを、あらためてご理解いただきたいのです。

加えて、自力での避難や水害対応が困難で助けを必要としている方がどこにいるのかを、役場が完全に把握することは困難です。場合によっては助けが必要な方が自ら声を上げて頂くことも重要かもしれません。もしもこのような方が周囲にいた場合、ご近所などで普段から相談しておくことも重要です (=共助)。

あなたの助けを必要としている人がいます

身体の不自由な人	目や耳の不自由な人	高齢者	病を患っている人
ケガをしている人	外国人	旅行者	危険に気付いていない人